

反原発への いやがらせの歴史展

PART 2

1月18日(土)

午後1時～午後6時
(入場は午後5時半まで)

1月19日(日)

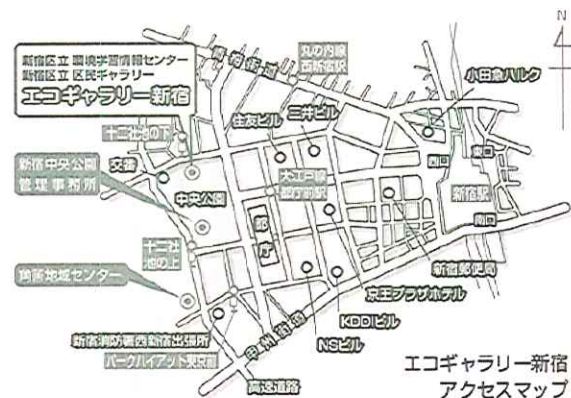
午前10時～午後4時
(入場は午後3時半まで)

新宿区立区民ギャラリー

東京都新宿区西新宿2-11-4
新宿中央公園内 エコギャラリー新宿1階

入場無料

※18日は午後2時から、19日は午前11時、午後2時から
主催メンバー(海渡雄一弁護士他)と朝日新聞・須藤
龍也記者による展示の説明、懇談があります。



交通のご案内

- ・JR・小田急線・京王線新宿駅西口から徒歩約15分
- ・地下鉄丸ノ内線新宿駅2番出口から徒歩約10分
- ・地下鉄大江戸線都庁前駅A5出口から徒歩約5分
- ・新宿西口バスターミナル(17番乗り場)から乗車し、
「十二社池の下」バス停下車徒歩約1分

2013年8月に同じ新宿区立区民ギャラリーで「反原発へのいやがらせの歴史展」を開催しました。地味な展覧会でしたが、意外な反響があり、二日の間に1200人も入場者があり、狭い会場は超満員となりました。参加できなかった多くの方からのアンコールに応え、内容をパワーアップし、会場の広さも倍に拡大し、最近のいやがらせの実情も紹介する展覧会パート2を開催することにしました。

第1回の展覧会で明らかにした原発反対運動へのいやがらせは1980年代の終わり頃から見え隠れし、1993年ころがピークで、2000年頃まで続きました。あまりにも卑劣なやり方に全国の活動家たちが集まり、1994年から準備して1995年7月には日弁連に人権侵害救済の申し立てをしました。今日に至っても、このような嫌がらせを行った犯人はわかりません。日弁連は、行為者が不明という理由で結論を出すことができませんでした。しかし、現時点で見れば、このような嫌がらせは、電力会社と公安機関、そしてキャンペーン活動のプロ集団が複雑に絡み合った複合組織による組織的な運動破壊であったと思われます。

2011年3月の東日本大震災と福島原発事故からまもなく3年が経過します。この大災害は、経済成長を追い求めてきた日本社会が人間中心のものに変わり、原発推進と訣別するきっかけとなると期待されました。しかし、衆院・参院選挙では汚染水の漏洩が続いていたことも隠され、アベノミクスという経済成長への幻想がふりまかれて自民党が大勝利、オリンピックへの熱狂の中で事故の被害者のことは忘れ去られようとしています。安倍首相は秘密保護法を制定し、集団的自衛権行使を認め、戦争への道をひた走っているようです。

2013年夏から全国の原発について、次々に原発再稼働の申請がされ、規制委員会の審査が始まっています。これに対応して再稼働に反対する活動もますます活発となることでしょう。私たちは、そのとき手紙や写真という伝統的な形とは変わるかもしれませんが、より巧みな反対運動への攪乱工作が

行われるのではないかという強い危惧を感じ、第1回の展覧会を企画しました。

その目的は、このような活動を未然に防止するために、過去の反原発運動とこれに対する嫌がらせの歴史を正確に多くの市民に知っていただきたいということでした。そしてこのような反倫理的な犯罪的行為に荷担したおそらく数百人に上る者の中から、過去の行為を認め、詳細を明らかにする者が名乗り出てくれることを願うところにありました。

原発反対運動に サイバー攻撃

9月には、インターネットを使って、多くのメールを送りつけて、業務を妨害する新たないやがらせが始まっています。このような情報が展覧会の実行委員会に集まり、これに対する対策を共有することができました。深刻な被害を避けられたのは、この展覧会を催した一つの成果だと考えています。

脱原発弁護団全国連絡会は、原発訴訟を闘うだけでなく、脱原発のための市民活動に対するいやがらせに法律家として対応することを決めました。今回の展覧会では、ネットを利用したいやがらせの諸形態に対して、最もひどい被害を受けた福島原発訴訟団の実情を紹介し、これに対してどのように自衛していけばよいのかを学ぶため、朝日新聞の大特集記事を執筆してくれたサイバー専門の須藤龍也記者を講師に、サイバー攻撃の撃退法を学びたいと思います。

第1回の展覧会の内容と、当時の経験をまとめ、展覧会までには単行本「反原発へのいやがらせ 全記録 原子カムラの品性を笑う」を発刊する予定です。今回の展覧会のプログラムになっていると思います。原発をなくす闘いは、行き先の長い闘いとなるでしょう。息長く市民活動を継続していくためには、このようないやがらせを許してはなりません。しかし、過剰に反応して、おびえて活動を控えるようなことは、犯人の思うつぼです。原子カムラの品性のなさを笑い飛ばすことで、このようないやがらせの効果を無効にすることが可能だと思います。ぜひ、展覧会にお越し下さり、語り合しましょう。

(「反原発へのいやがらせの歴史展」実行委員会代表 海渡 雄一)

主催●反原発へのいやがらせの歴史展実行委員会

問い合わせ 東京共同法律事務所(電話:03-3341-3133)
弁護士 海渡雄一、弁護士 中川 亮

ごめんね
今夜も反原発の集まり
で 帰りが遅くなるの



お母さん さびしいよ
一緒にねんねしてよ...

いやがらせで送られてきたものは、一見すると反原発運動で使われたイラストと同じだが、運動の混乱を狙っている内容だ。